

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-イ	市場特性に対応した誘客活動の展開		
施策	②海外誘客活動の戦略的展開			
(施策の小項目)	○海外誘客の推進			
主な取組	那覇港人流機能強化関連事業	実施計画 記載頁	169	
対応する 主な課題	○海外からの誘客については、アジアからの観光客が増加傾向にあるが、海外における沖縄の認知度は依然として低い状況にあることから、観光マーケティング力を強化し、アジア諸国や欧米を中心に誘客ターゲットを絞り込み、効果的で戦略的なプロモーション活動を展開することが重要である。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	那覇港においてクルーズ船受入促進するため、クルーズ船入出港時等において、エイサーなどの歓送迎セレモニー等を推進する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体 那覇港管理組合
	みなとまちづくり活動支援、ポートセールス等事業					→	
担当部課	土木建築部港湾課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成25年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
那覇港人流機能強化関連事業	3,300	3,300	那覇港管理組合において、クルーズ受入促進事業(歓送迎セレモニー58回)を実施した。	一括交付金 (ハード)
活動指標名			計画値	実績値
—			—	—
推進状況	平成25年度取組の効果			
順調	クルーズ受入促進事業(歓送迎セレモニー)を実施することで、那覇港クルーズ船利用者の外国人観光客数の増加が期待できる。 平成25年度予定していたクルーズ受入促進事業(歓送迎セレモニー)について、計画通り実施することができた。			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成26年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
那覇港人流機能強化関連事業	3,300	那覇港管理組合において、クルーズ受入促進事業(歓送迎セレモニー80回予定)を行う。	一括交付金(ハード)

(3) これまでの改善案の反映状況

地元、旅行会社、関係機関等と協働し、観光客、船社の満足度が上がるような取組を図ったことから計画通りに進捗している。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
外国人観光客数 (うち海路来訪者数)	11.9万人 (23年度)	—	23万人 (28年)	—	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	目標値を達成すべく、より一層の観光客誘致活動や港湾施設の早期強化・拡充などの観光客受入体制の充実に向けた対応が必要である。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・近年、那覇港へのクルーズ船寄港が増加しており、観光客の受入体制の充実が必要である。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・県と那覇港管理組合は、国内の寄港地でも同様な演舞等のセレモニーが行われていることから、独自性のセレモニーの検討を図っていく。

4 取組の改善案(Action)

・県と那覇港管理組合は、地元、旅行会社、関係機関等と協働し、観光客、船社の満足度が上がるような取組を図っていく。